



筑波大学新聞 第269号

雑誌名	筑波大学新聞
号	269
発行年	2008-05-12
URL	http://hdl.handle.net/2241/00123296

筑波大学新聞

第269号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会
委員長 荻野祥三

TEL: 029(853)2040・6699
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

図書館長に聞く閉鎖問題
文科大臣表彰 本学から4人受賞
ハロー先端科学 次世代植物はトマト
スポーツの裏側 栄養管理法
スポーツの顔 女子野球部員
体育ギャラリーオープン

11 9 8 7 5 2

特集 6,7

環境レポート
筑波大学のエコ意識を探る

ミニ特集 3

研究科長のすすめる一冊

筑波大学特別講義

学長が物理の世界語る

毎週著名人が講演

500人が聴き入る



本年度新設された「筑波大学特別講義」大学と学問17日に大学会館講堂で行われた。岩崎洋一学長を講師として、筑波大学特別講義「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。

今年度新設された「筑波大学特別講義」大学と学問17日に大学会館講堂で行われた。岩崎洋一学長を講師として、筑波大学特別講義「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。

「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。岩崎洋一学長を講師として、筑波大学特別講義「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。

「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。岩崎洋一学長を講師として、筑波大学特別講義「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。

「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。岩崎洋一学長を講師として、筑波大学特別講義「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。

「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。岩崎洋一学長を講師として、筑波大学特別講義「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。

「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。岩崎洋一学長を講師として、筑波大学特別講義「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。

「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。岩崎洋一学長を講師として、筑波大学特別講義「大学と学問」17日に大学会館講堂で行われた。

事務組織改編

法人化以来の大幅改革

効率化と連携の強化へ

本学は、業務の迅速化・効率化を図るため、今年度の4月1日付けで事務組織の見直し、意識改革などを総合的に進める必要がある。編には、法人化以降、社会の高度化や国内外における大学間競争の激化が背景に

ある。業務を改善するためには組織体制や戦力配分の改編が大きく変わったのは、1つ目に、総務・企画部のもとにあった企画課、広報課が部組織から独立、学長・副学長直属の企画室、広報室となった。これにより、国際課と留学生セン

ター事務が国際部として再編された。新しい部では、それぞれ国際企画課、留学生交流課と名称が変わった。さらに、国際部長には国際協力銀行出身の実務家が就任。この人事には、学内とは違った視点での国際化が期待されている。

その他に、学生部と学務部を統合再編した。学生部の学生生活やキャリアを支援する業務と学群・大学院教育や入試を担当する学

務部と連携を強化すること、教育の質の向上を図る。学生の異動などの情報も共有されやすくなる。

2つ目に、研究事業部の中に競争的資金推進グループを設置した。企業や各学内などから、研究支援のための競争的資金を獲得する機能を強化した。

統合の動きとして、学内の国際連携などの国際交流業務の増大に対処するため、国際課と留学生セン

ター事務が国際部として再編された。新しい部では、それぞれ国際企画課、留学生交流課と名称が変わった。さらに、国際部長には国際協力銀行出身の実務家が就任。この人事には、学内とは違った視点での国際化が期待されている。

その他に、学生部と学務部を統合再編した。学生部の学生生活やキャリアを支援する業務と学群・大学院教育や入試を担当する学

務部と連携を強化すること、教育の質の向上を図る。学生の異動などの情報も共有されやすくなる。

2つ目に、研究事業部の中に競争的資金推進グループを設置した。企業や各学内などから、研究支援のための競争的資金を獲得する機能を強化した。

統合の動きとして、学内の国際連携などの国際交流業務の増大に対処するため、国際課と留学生セン

ター事務が国際部として再編された。新しい部では、それぞれ国際企画課、留学生交流課と名称が変わった。さらに、国際部長には国際協力銀行出身の実務家が就任。この人事には、学内とは違った視点での国際化が期待されている。

その他に、学生部と学務部を統合再編した。学生部の学生生活やキャリアを支援する業務と学群・大学院教育や入試を担当する学

務部と連携を強化すること、教育の質の向上を図る。学生の異動などの情報も共有されやすくなる。

2つ目に、研究事業部の中に競争的資金推進グループを設置した。企業や各学内などから、研究支援のための競争的資金を獲得する機能を強化した。

統合の動きとして、学内の国際連携などの国際交流業務の増大に対処するため、国際課と留学生セン

ター事務が国際部として再編された。新しい部では、それぞれ国際企画課、留学生交流課と名称が変わった。さらに、国際部長には国際協力銀行出身の実務家が就任。この人事には、学内とは違った視点での国際化が期待されている。

その他に、学生部と学務部を統合再編した。学生部の学生生活やキャリアを支援する業務と学群・大学院教育や入試を担当する学

務部と連携を強化すること、教育の質の向上を図る。学生の異動などの情報も共有されやすくなる。

2つ目に、研究事業部の中に競争的資金推進グループを設置した。企業や各学内などから、研究支援のための競争的資金を獲得する機能を強化した。

コミュニティFM局

開局に向け本格始動

大学と市民の架け橋に

ラジオを通して本学と地域の交流を深めよう、コミュニティFM局「ラヂオつくば」が今年中に開局する見込みだ。2004年から、足立和隆准教授(体

育)らが中心となって進めてきたもので、運営はつくばコミュニティ放送株式会社が行う。当初の計画では3月にも開局できる予定だったが、必要書類の準備などで申請が今月までずれ込んだ。

開局の申請書が関東総合通信局に受理されると、総合研究棟Bの屋上にアンテナを設置し、1・3カ月間試験放送を行うこととなる。本格的な開局は7月末から8月になる予定だ。開局すれば国立大では初の地域と大学をつなぐラジオ局が誕生する。

「ラヂオつくば」でも、つくばはコミュニティ放送株式会社を立ち上げる際に資本金不足に悩まされ、發起人を探して奔走した。また、昨年8月に、つくば市が市民団体に援助を行う「市民提案型つくばスタイル事業交付金」に採択され、200万円の援助を得た。

現在約2300万円の資金が集まっている。番組制作には、インターネット上でラジオ番組を提供する本学の学生団体「ROOTS」も参加する。足立准教授は「大学の知的財産を地域に提供できる番組制作」を目指しており、教授と学生の対談や、学生団体のコンサートなどの放送など、現在多くの番組案があるようだ。

また、つくば市は地震が頻発する地域であるため、災害時の緊急連絡への使用も「ラヂオつくば」の大きな目的である。市内で観測される地震のほとんどは震度1・3の小規模なものだが、震度5を超える大地震が起ることも十分に考えられる。つくば市の危機管理に「ラヂオつくば」が役割を担う。

足立准教授は「開局が決まったら、大学とつくば市民両方の役に立つラジオ局づくりを目指して頑張りたい」と語った。



つくば歳時記

桜が散り、本学のループが緑色に衣替えた。日差しを浴びて輝く新緑のトンネルがどこまでも続いている(文サ館前で)(撮影・篠崎真希=国際総合学類)

筑波おはなし

ギリシア神話には「パリスの審判」と呼ばれる一節がある。争いの神、エリスが「最も美しい女神に与える」と投げ入れた黄金のリンゴを巡って、3人の美女が争う話だ。審判を任されたパリスに対し、ヘラ、アテナ、アフロディテは、あらゆる手を尽くして誘惑する。▼女が美しさを競い合うのは、今も昔も変わらないのかも知れない。「国民的美少女コンテスト」や大学のミスコンなど、美人コンテストは今でも数多く開催されている。しかし、女の容姿を比べる行為は、時折疑問を感じることもある▼テレビでは、美人ではない女性を叩いたり、からかったりする場面がよくある。キレイになりたい女性が涙ながらにコンプレックスを告白し、整形手術を受けるという番組も存在する。「女は美しくないといけない」。そう言われているように思う▼本学でも、各学類から選ばれたゆかコン嬢が、美しさやパフォーマンスを競う「浴衣コンテスト」が行われる。毎年、やどかり祭が近づくと、ゆかコン嬢の姿についている噂を耳にすることが増え、時には中傷めいた言葉を聞くこともある▼ギリシア神話の時代には、女は自ら美を競っていた。しかし、現代では女が周囲から美しさを強いられる。そんな社会のあり方をゆかコンを通して考えてみてはどうだろうか。

競技場を全面改修

レーン増設で機能向上も 工事は10月下旬まで

本学の陸上競技場が5月12日～10月下旬にかけて全面改修される。本学の陸上競技場は設立当初から30年以上使われ続け、老朽化が進んでいるため体育セ



機能性を向上させ、生まれ変わる

ンターから改修の要請があり、今回の全面改修に踏み切った。改修に伴い、レーンの増設や、倉庫を設置するなど機能性の向上も図られる。

トラックでは、表層のウレタンが基礎部分から乖離して水が溜まるなどの不具合が生じているため、改修では基礎部分からつくり直す。フィールドでも芝生の張替えとその下の排水施設の整備が行われる。

が、容積・高さが十分ないため倉庫を新設する。倉庫の2階部分には40人程度の収容人数やレーンの数など、授業で利用したり、競技会の運営本部として使う。

陸上競技連盟に2種として認定されていたが、改修に伴って3種に変更される。収容人数やレーンの数などの基準によって、国際大会の会場として使用される機能を有する競技場が2種として規定されている。3種では大規模な競技会は開催できなくなるが、改修後もつくばマラソンや地域の競技会に使用される予定だ。

工事中は競技場利用できなくなるため、陸上部の練習は大学周辺の別の場所で行うようになる。レーン

などが必要な短距離や幅跳びは、週1回大学が用意するバスで土浦や石岡のグラウンドに移動し、週末も他の競技場で練習する。毎年行う体力測定を含め、体育の授業も、他の場所で行うか、競技場での種目を改修

後に行うように調整する。宮下憲体育センター長も「体育施設には教育・研究・交流・集客・トレーニングと5つの機能が必要とされ、その機能をこれから

の大学ビジョンに提案していきたい」と語った。また、本学では他の体育施設も老朽化が進

や陸域環境センターなどの研究施設の公開が行われ、一般客も訪れた。各公開施設に設置されているスタン

幅広い研究成果発表

競泳や飛び込み、水球などの水中競技に関する研究発表を行う第1回アクアティックススポーツ国際会議が、3月25～28日にかけてつくば国際会議場で開催された。国内外の研究者による60人による口頭発表やポスター発表が行われた。

本会議は、本学の水泳研究室が主体となって開催され、一般の発表者のほか、水中活動に関する各国の著名人が招待講演者として話した。26日にはニュージ

図書館のあり方とは

逸村教授談

図書館の耐震工事に伴う1、2階部分の閉鎖についての講演を行った。そのほか、着衣泳やスクーバ・ダイビング、水中ライフラインガバナンスや学校図書館経営の講義を行う逸村裕教授（図情メ）に話を聞いた。

図書館耐震工事をすすめることについてどう思っているか。

植松附属図書館長に聞く

図書館一部閉鎖問題

中央図書館の耐震工事をめぐり、本紙に図書館の対応を問題視する投書が寄せられるなど、学内で議論が起きている。本紙は今回工事が行われることになった背景や事実関係について、図書館側

可能性も探っている」と話す。しかし、予算執行のタイミング、工事の展

望や手順、学内スペースの不足などでやむを得ず今回のような措置になった

批判に対して図書館側は、長期貸出期間の延長や、体芸図書館・図情図書館への資料の移動などの救済措置を採っている。また、重複図書保存庫の活用による利用可能資料の拡大を明らかにしている。

今回の工事は昨年6月

通知にあたっては、最初は1階、2階の資料はごく一部の資料を除き利用不可能という通知を出した。その後、利用可能とした資料についてはその都度通知したが、「最初の通知の時点で、利用者の目には唐突に映ったのかもしれない面がある」とも認めるべ

きだ。植松附属図書館長も「安全で快適な図書館を作るためには、いつかやらなければならないことと工事の必要性を強調している。確かに、地震に備えて対策を打っておくことは大切であるし、来年度以降に入ってくる学生のことを考えれば、快適で使いやすい図書館になるのは望ましいこと

だろう。

図書館のWebサイトには利用者が意見を投稿できるページがある。より利用しやすい図書館にするためにも、積極的に意見の交換を行いたい。（本紙・高橋俊樹Ⅱ社会学類）

科学技術週間

学内の研究施設公開

科学を身近なものに

第49回「科学技術週間」（4月14～20日）に合わせ、本学や周辺の研究施設で、さまざまなイベントが開催された。「科学技術週間」は科学技術に関する一般の

関心を深め、日本の科学技術の振興を図ることを目的として、昭和35年に政府が制定したものだ。今年の標語は「描こうよ 科学の力で 未来地図 だった。本学ではバイオエカフェ



水を飲む「利き水大会」の参加者

「数理解物質科学の夢いっぱいポスター展」に訪れていた数理解物質科学研究科の学生は「基礎学問に対して好意的になって頂くいい機会か」と話し、陸域環境研究センター特別公開に足を運んだ等間市在の会社員の男性は「こんなに研究所や大学が集まっている茨城に住んでいて良かった」とコメントした。

新共用棟建設

研究スペース増設

本学第3エリアに

本学第3エリアの総合研究棟Bの西側に、新共用棟が建設されることになった。学内の共同研究棟A・Cにある、貸し出し用の研究スペースが不足してきたことを受け、昨年9月に水林博副学長が研究施設の

新共用棟の仕様については、水林副学長を中心としたワーキンググループで策定した。完成すると鉄骨4階建て、床面積約2750平方メートルの研究・実験施設になる。一つのフロアを二つに分け、実験室ゾーンと研究室ゾーンを設ける予定だ。1階と3階は物理系、2階は情報系、4階は化学系の研究・実験室を置く。

8月に着工、来年1月末に完成する予定。完成後は、グローバルCOEなど、外部資金を獲得している研究グループに研究・実験室の提供を行う。

費として、本学の予算から約5億2000万円を投じ

訂正 本紙268号2面の入試方式の変更の記事に、「複数の学類で来年度の入試内容について変更があった」とありますが、そのうち「日本語・日本文学類の後期日程廃止および「心理学類の入試科目変更」は22年度入試から変更の誤りでした。

また、地球学類で後期日程が再び実施とありますが、「新しく実施」の誤りでした。また、心理学類の個別学力試験科目の変更で、「数学の出題範囲がⅡB・ⅢCに変更される」とありますが、正しくは「数Ⅱ・数B、数Ⅲ、数Cから一つ選択から数Ⅱ・数Ⅲ・数B・数C」に変更」でした。お詫びして訂正します。

研究科長がすすめる一冊



●大学時代には時間がたくさんある。教養を深めるため、新たな世界を知るため、読書をするののはどうだろうか。
●研究科長におすすめの1冊を紹介してもらった。興味のある本があれば、是非手にとってほしい。
●

人文社会研究科

坪井 美樹



「古典再入門『土左日記』」をめぐりにして(小松英雄著・笠間書院・2006年・1900円)

著者の小松英雄先生は、本学の名譽教授で、私の恩師である。1929年の生まれだから、今年満79歳になられる。しかし、精神と頭脳はいまだ瑞々しく知的生産力に衰えを見せない。本書も2006年に刊行された比較的最近のお仕事である。

本書は『土左日記』という古典文学の「名著」を題材に、その表現解釈に関する従来の所説に対して徹底的に批判的な検討を行い、独自の解釈を数多く提示したものである。日本語・日本文学という枠組みを超えた、言うなれば文献学の書である。しかし、本書はなぜ変化するか(笠間書院)なども薦めたい。

ビジネス科学研究科

山田 秀



「論文提造」(村松秀著・中公新書ラクレ・2006年・860円)

この実験が成功すれば……という期待を持っていたものの、結果が思わしくないとその直後は落胆します。しかし、結果を取り直して、なぜ不成功だったのかを丹

の科学誌に虚偽の論文を発表し続けたものの、最後には論文提造が発覚した実話を、NHKのディレクターである著者が種々の取材結果をもとに紹介しています。

初期の発表は、虚偽とは全く疑われない結果のすばらしさからノーベル賞候補、ベル研究所の要職獲得など高い評価を受けました。しかし論文が次々と発表されるにつれ、技術的正しさ、データの奇妙なクセ、実験ノートの不備などから、周囲は提造でと疑い始めます。最終的には捏造が発覚し、周囲にはなん

とも言えないむなしさが残り、制度の問題点が浮かび上がります。

新たな理論、実験結果などを外部から検証する仕組みは、論文審査制度をはじめとして完全ではありません。この中で科学を進化させるには、事実を虚偽なく報告するというのは分野を超えて重要な行動規範です。さらに科学が細分化されている現在、分野それぞれに固有の行動規範もあります。本書を、科学者として歩む際の行動規範について考えるきっかけとしてお薦めします。

数理工学科学研究科

赤平 昌文



「統計学を拓いた異才たち」(デイヴィッド・サンツルグ著・竹内恵行、熊谷悦生訳・日本経済新聞社・2006年・2200円)

統計学は、理系、文系を問わず盛んに利用される学問であり、コンピュータの発展と相まってますますその重要性が高まっている。本書の著者はその序の中で、徐々に科学は現在の統計モデルという新しいパラダイムで動き始めるようになり、20世紀末までにはほとんどすべての科学が統計モデルを使うようになると述べ、このことを「科学革命」と称し、これを担った人々の発見を通して理解させようと努めている。

原著のタイトルは「紅茶を味わう婦人」である。英国婦人の主張「紅茶にミルクを注ぐのとミルクに紅茶を注ぐのでは味が違う」に対し、その命題を検証しようと言いつたのが、ロナルド・フィッシャーである。現在の統計的推測理論は彼によって創始され、ランダムな実験計画法を農学に適用して著しい成果を挙げるとともに、遺伝学にも多大な貢献をした天才で、その仕事は多くの異才達に大きな影響を与えた。

後にフィッシャーと確執を生じたカール・ピアソンは統計モデルの根底にある性質を認め、それまでの決定論的見方に異なる何かを認識して科学革命の始まりを担った。

また、「数学のモーツァルト」の章に登場するアンドレイ・コルモゴロフは確率論、数理統計学において数学的厳密さ、深さ等の点でフィッシャーを凌ぐ天才であるが、異才達の多くも数学の豊富な知識を基礎にして現実問題の解決に果敢

に挑戦し、成功した輝かし、制度の問題点が浮かび上がります。

システム情報工学研究科

田中 二郎



「図解業界地図が一目でわかる本最新2008年版」(ヒジネスリサーチ・ジャパン著・三笠書房・2007年・6300円)

就職シーズンである。学生の人と話していると、自分が就職を希望する業界について驚くほど知識がないことがわかる。たとえば情報系の学生では「情報サービス」や「メーカー」に就職を希望する人が多いが、そもそも企業名を知らな

れから前後の文章を読めばいい。図に書かれている年間売り上げは、その会社についてのかなりの社会的なニーズがあるかの判断材料になる。(年間売り上げ一兆円が基準である。)

ITサービスを提供している会社にはどのようなものがあるのか、それぞれの会社の売り上げは？半導体、電子部品、ロボットなどのマーケットサイズは？読む前にまず予想しながら読んでいくと面白い。

なお、書かれていることは新聞知識の域を出ないの

のでもそれを読んでもいいかもしれない。土台となる基礎を作らないで家を建てても家が壊れてしまう。早いうちから基礎となる業界地図を認識して入れれば、新聞や雑誌の記事なども興味を持って読めるようになると思う。

生命環境科学研究科

田瀬 則雄



「清貧の思想」(中野孝次著・草思社・1992年・1500円)

私がこの「清貧の思想」を読んだのは、ちょうど15年前で、バブルがはじけた直後である。戦後の高度経済成長、エコノミックアニマルの時代が終焉し、何かむなしさを感じていた日本人の心に回帰するものがあつたのか、長ベストセラーになり、文庫本も出ているのがこの本である。

エコノミックアニマルに

好、芭蕉と言った日本文化史を彩る文人の言行を通して、一般庶民にも浸透しているこの思想を、「清貧」とはたんなる貧乏ではない。

それは自らの思想と意志によって積極的に作りだされた簡素な生の形態です。」

出ていると思われるが、これはやはり時代の違いを反映しているのかもしれない。この清貧の思想は、今でも多くの人々の心に生きて

いると思います。すばらしい日本の文化の一面であり、国際交流の場で語ってもらいたい日本の思想としても、是非一読してもらいたい一冊である。

最近、LOHAS(Lifestyles Of Health And Sustainability)という言葉を聞きす

「改めて『大学制度と何かが』を問う」(昭昭著・東信堂・2007年・1000円)

学生は皆さんにとってはやや堅苦しいタイトルであるが、同じ大学人としてわが国の大学の行く末を案じ、今一度、筑波大学が先頭に立って大学のグランド・デザインを設計していく上ではたいへん参考となる有益な本である。

人間総合科学研究科

清水 一彦



「図書情報学マテリア研究科」

図書情報学マテリア研究科

中山 伸一

「発想法」(川喜田二郎著・中公新書・1967年・600円)

川喜田二郎著の「発想法」(中公新書136)を、ご紹介いたします。最近の大学で学ぶ事柄は、専門性が高まったことにより、知識を蓄積する事に追われてしまつて、知識を利用する側面が十分ではないような気がします。

本書は、問題提起(外部探検(情報集め)→観察→記録→分類→統合というプロセス)からなる、野外科学的な方法とその応用を具体的に説明しているものです。しかしそのプロセスは、問題解決という知識利用の考え方として考察されているため、様々な専門領域の読者が読んでそれぞれに利用できる事柄を含んでおり、普遍性の高い内容です。



我々は、今日の大学制度や教育用語について何ら疑問を抱くことなく、自明のごとく受け容れているが、実は「間違っていたらいい」ならぬ「間違っていたらいい」の大学制度となっているのである。この本の賞賛するところは、制度や用語の原点に戻ってそもそも論を展開しているところである。大学制度の基本を成す「学位」「学部」「大学院」「教員組織」「教育研究組織」「単位制度」さらには「学生」という用語についても、それぞれの本来の意味や制度の趣旨・意図を明確にし、歴史的かつ比較的な視点からその間違いをわかりやすく指摘するとともに、わが国の大学の未来設計への知見を提示している。

反射鏡

魅力いっぱい
うどんのすすめ
須佐美帆（人文2年）

はやいもので入学式から一カ月が経ちました。一年生の初々しい少年少女たちもそろそろキャンパスライフに慣れてきたのではないのでしょうか。

8時40分から授業が始まり、終わるのは午後6時。しかも1コマ75分。そんなハードな大学生活に一時の休息を与えてくれるのがお昼ご飯の時間ですね。自分でお弁当を作って外で食べたり、大学付近の飲食店に行ったりと人によってさ

ず。中でも、特に私はなめうどんがお気に入りです。しかし、なめうどんはちくわつうどんや、月見うどんなどローテーションしているため、いつも食べられるとは限りません。そのため、なめうどんに巡りあえた時は感動です。他にも1食のうどんは、山菜きつねなどバリエーション



今月のテーマ
おすすめの学食メニュー

自分で見つける学食の楽しみ方
成澤知美（人間3年）

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そんな中、2食は一面がガラス張りになっており、明るく、開放的な雰囲気になっています。時々天の川付近で催されている、サークルの勧誘や活動を見ながら食事することもできます。

そう、いろいろな学食のメニューに挑戦して、自分のお気に入りのメニューを見つけた頃でしょうか。今回は私の2食のおすすめメニューを紹介させていただきます。

なかでも私のおすすめのメニューは小鉢や、一品もののおかずです。一品もののおかずには、野菜炒めやフ

ライ、煮物などがあり、小鉢には納豆や冷や奴、おひたしから、杏仁豆腐やプリンなどのデザートが販売されています。値段は100円以下のもので販売されているので、その日の予算や栄養バランスを考えながら、自由に組み合わせを楽しむことができます。

また、2食には、男の人や女の人の関係なく、ご飯を自分で持参している人が多いように感じます。節約のために自分でお弁当を作ろうと意気込んだものの、早起きられない……という理由などからすでに挫折してしまっただ方は、ご飯だけ持参して、おかずを2食で好きなものを選ぶ、というやり方でも十分節約になると思います。

また、お弁当やパン・飲み物を購入して、次の講義の教室で食べることもできます。

さて学食である。衣・住を差し置いても取らねば死んでしまふ食である。私は第3エリアの学生食堂しか

ます。2食は販売しているメニューが豊富なので、利用の仕方はたくさんあると思います。

使っていないので他の状況があまり分からないが、周辺の飲食店よりは安く、使い勝手もよいのが学食の大きな魅力であろう。だがあくまでも他と比べれば、の話であり、調子に乗ってポ

で一番安いものを上げてみようと思う。といっても先述した理由で3学食以上にない。少々きまの悪いが、ご容赦願いたい。

次にラーメン屋の東京アがあまり分らないが、周辺の飲食店よりは安く、使い勝手もよいのが学食の大きな魅力であろう。だがあくまでも他と比べれば、の話であり、調子に乗ってポ

り、個人的にはおすすめ。結局何が言いたかったかといえば、安くてもそれなりに良いメニューは食べられ、少々量足りない。それでもいいではないか。学

日本は証明問題の解き方が素晴らしいです。プルネイでは中学校で証明問題を解かないし、高校でもそう多くはないです。このように日本の数学教育が進んでいる理由は、プルネイはマライ人や中国人が多いのに、教科書は英語です。普段マライ語や中国語を使っているのに、数学の難しい用語が英語で理解できない時があります。

また、プルネイは昔イギリスの植民地だったので、教育カリキュラムやシラバスは、イギリスのものです。それも良くないと思います。

プルネイでは、理数のパブリックテストの成績が年々下がって問題になっていきます。もっとプルネイの数学の授業が良くなしてほしいです。（プルネイダルサラーム・教育専攻1年、構成・馬野裕子（社会学類）

筑波時評

今年3月、荒川沖駅で24歳の青年が8人を殺傷する事件を起こした。この青年は、同じ土浦市で起こした別の殺人事件で2日前に指名手配されており、前日には同じ荒川沖駅から「早く捕まえてごらん」と警察へ電話をかけていた。その後、いったん秋葉原へ潜伏したものの、翌日には再び同じ場所へ舞い戻ってこの事件を起こしたのである。

「早く捕まえてごらん」という彼の言葉は、私には「早く捕まえてよ」という叫びに聞こえる。警察を挑発したものと一般

には受け取られたが、地元へ舞い戻ってきたことを考えると、最後まで逃げきる気はなかったと思われる。第一の事件を

起こした後に変装したのも、次の事件を起こすまでの時間稼ぎにすぎなかったのではないか。その証拠に、第二の事件の直後には最寄りの交番へ向き、そこに警官が不在と知るや、自ら通報電話をかけて警官の到着を待

駅件 生の希薄さが生んだ事件 川傷 異質さと向き合う経験を



土井 隆義

うメンタリティは、両者のあいだに共通している。付け加えれば、自殺願者たちが仲間を募った場所は、ネット上の自己開示サイトであった。そこでは、機能的には異質な人々が互いに繋がっており、あつたことを可能にするネ

これは他人事ではない。近著『友だち地獄―空気を読む』世代のサイバル（ちくま新書）で詳しく描いたように、誰のなかにも「無気味な自分」は潜んでいる。自分にとって不本意な「異質な自分」と出会ってしまっとき、私はちはその自分とのかに折り合いをつけ、受け入れたい自分をいかに受け入れていくのか。そのための知恵を身につけるには、同質的な仲間どうしの狭小な人間関係に安住することなく、日々の生活のなかで異質な他者と具体的に触れ合い、異質なものと向き合う経験を積んでおくことが肝要だろう。

（人杜・教授）

留学生の目

デンエイ・ゴ・フ

私は昨年の4月にプルネイから日本に来ました。プルネイは、平和で静かな国です。とても小さくて、人口は40万人ほどです。イスラム教徒が多いので酒もデイスコもカラオケもありません。けれど、自然豊かで、海がきれいです。

日本でプルネイは豊かだと思われているようですが、最近では石油がなくなってきたいて、経済もあまり良くないです。これからもっと経済が悪くなるのではないかと心配に思っています。



先進的な日本の数学

す。研究授業では、良い先生の授業を見て、知識とやり方を習います。また、日本の数学の先生は知識が豊富です。プルネイでは、経済学を勉強した人が数学を教えること

プルネイでは、理数のパブリックテストの成績が年々下がって問題になっていきます。もっとプルネイの数学の授業が良くなしてほしいです。（プルネイダルサラーム・教育専攻1年、構成・馬野裕子（社会学類）

投稿募集

1万人に想いが届く
あなたの気持ちを
学内に発信してみませんか。
意見、要望をお待ちしています。

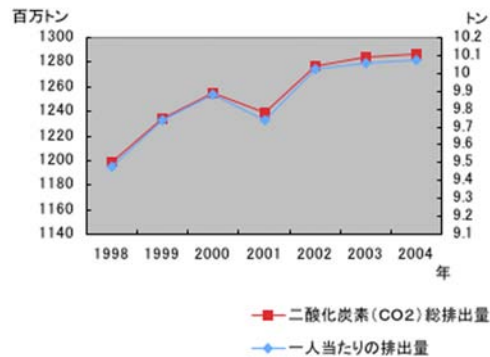
次号のテーマは

私のテスト前夜です

連絡先
TEL 0299・8533・6669
e-mail shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

筑波大学のエコ意識を探る

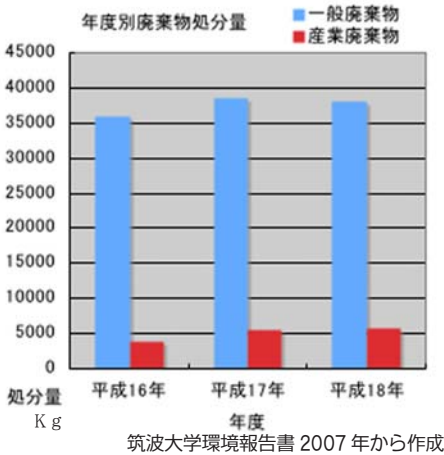
日本の二酸化炭素排出量の推移



出典・温室効果ガスインベントリオフィス

2万人が活動する本学からは、毎日大量のゴミが出される。本学におけるゴミ問題の現状と対策はどうなっているのか。

本学の環境安全管理室が作成した2007年の報告書によると、06年には大学全体で年間3810トンのゴミが排出された。その他の事業活動から出るプラスチックや感染症廃棄物など産業廃棄物が567トン。



筑波大学環境報告書 2007 年から作成

産業廃棄物には、研究活動から出る廃試薬などが含まれる。平成 18 年度はゴミの処分に年間約 1 億 4200 万円かかった。

その種類は缶やペットボトルに加え、模擬店や出し物に使われる発泡スチロールのトレイ、割り箸、紙コップなど。ビラを配るために紙もいつもより多く消費される。宿舎祭実行委員は、各模擬店に4つのゴミ袋を用意して分別するように呼びかけ、会場内にも分別されたゴミ箱を設置している。それでも燃えないゴミの中に燃えるゴミが捨てられていたことに注目

し、再利用するため06年度から分別回収を始めた。システムを産学官との連携くは市内には各官庁や民間や、廃プラスチックを利用の研究所が多数存在し、市全体でも大量のプラスチックが廃棄されている。本学

4377トンのゴミ 循環システム広める



ゴミ問題

学生、教職員一人当たり0.3トンの計算になる。学生宿舎に住んだ経験がある人は、ゴミ収集所や指定日以外にゴミが出されたり、きちんと分別がされていない光景をみたことがあるだろう。宿舎から出されるゴミは、入居者の共益費から処理費用を負担していたが、今年から一般ゴミとしてつくば市が回収処理することになった。今までのようにマナーが守られない状況が続くと、回収を拒否される可能性がある。今後検討が必要な課題

の二つだ。イベントの時には普段以上に多くのゴミが発生する。その種類は缶やペットボトルに加え、模擬店や出し物に使われる発泡スチロールのトレイ、割り箸、紙コップなど。ビラを配るために紙もいつもより多く消費される。宿舎祭実行委員は、各模擬店に4つのゴミ袋を用意して分別するように呼びかけ、会場内にも分別されたゴミ箱を設置している。それでも燃えないゴミの中に燃えるゴミが捨てられていたことに注目

現在エコ計画が確実にスタートしている。また、計画やエネルギー使用状況の透明化を図るために、毎年9月に「筑波大学環境報告書」を発行している。本学のエネルギーなどの使用状況が詳しく掲載され、ホームページでも見ることが可能だ。

が捨てられていることがあ。今年は燃えるゴミの箱を増やして対応する。本学全体では、ゴミを減らす対策として紙の削減、リサイクル推進のためにゴミの分別を奨励している。紙については、両面コピーや縮小コピーで紙の無駄遣いを減らすように呼びかけている。ゴミについては3年前からベクトル、2年前からは缶、ビンの分別回収を始めた。学内各地で種類ごとに分けられたゴミ分別ボックスが設置されている。また、学内から出る鉄くずや古紙はリサイクル業者に委託され、その量は年間686トンになる。

電気の使用量を削減 集中暖房の見直しも

を減らすことが、最も重要だと考えられる。その点に注目して計画を立てた。電気の使用量を減らすことによる効果には、例えば、金庫で照明を毎日15分間消すと、年間でおおよそ130トンの温室効果ガスを削減することができるといったことがある。このように照明の使用時間を減らすことで改善できる場合はよ

いが、24時間消すことができないものもある。冷蔵庫や病棟の機器、外灯など。この部分の使用量が大きいので、いかに削減していくかが今後の課題だと言える。解決策の一案としては、冷蔵庫を新しいものに買い換えることなどがある。最新機器の方が二酸化炭素排出量は少ないのだ。また、本学は熱源を二カ

所に集めて全体を動かす集中暖房方式を採用しているが、老朽化や部屋の使用状況で効率が悪くなっている。対策として、近年では改修工事で集中暖房を棟やエリアごとの運転に切り替え、中央から切り離し始めていた。今後も改修で切り替えを進める方針だ。

また、吉田准教授は「小意識の問題がより鮮明になる。年度替わりの時期は卒業生が卒業して、新しい学生が入ってくる。その調査結果からは、モラルの問題が持ち出しに大きな影響を与えていることがわかった。

専門家に聞く 吉田謙太郎准教授

本学の環境を改善するには、どのようなことをすべきなのか。吉田謙太郎准教授（社シス）は、「学生が意識を高めることで、学生に行動を促すような対策を採ることが必要」と指摘する。特に、ゴミやエネルギーの問題については、学生のモラルに欠ける行動が多いという結果も出てい

る。この調査結果からは、モラルの問題が持ち出しに大きな影響を与えていることがわかった。また、吉田准教授は「小意識の問題がより鮮明になる。年度替わりの時期は卒業生が卒業して、新しい学生が入ってくる。その調査結果からは、モラルの問題が持ち出しに大きな影響を与えていることがわかった。

また、吉田准教授は「小意識の問題がより鮮明になる。年度替わりの時期は卒業生が卒業して、新しい学生が入ってくる。その調査結果からは、モラルの問題が持ち出しに大きな影響を与えていることがわかった。



は、どのようなことをすべきなのか。吉田謙太郎准教授（社シス）は、「学生が意識を高めることで、学生に行動を促すような対策を採ることが必要」と指摘する。特に、ゴミやエネルギーの問題については、学生のモラルに欠ける行動が多いという結果も出てい

る。この調査結果からは、モラルの問題が持ち出しに大きな影響を与えていることがわかった。また、吉田准教授は「小意識の問題がより鮮明になる。年度替わりの時期は卒業生が卒業して、新しい学生が入ってくる。その調査結果からは、モラルの問題が持ち出しに大きな影響を与えていることがわかった。

また、吉田准教授は「小意識の問題がより鮮明になる。年度替わりの時期は卒業生が卒業して、新しい学生が入ってくる。その調査結果からは、モラルの問題が持ち出しに大きな影響を与えていることがわかった。

CO2削減

現在、「エコバッグ」や「省エネ」という環境保護に関する言葉が毎日の生活の中に浸透している。約2万人の学生・教職員が生活する学内では、活動に伴って毎日ゴミを廃棄し、電力を消費している。人が生活する限り、環境への影響は避けることができないが、筑波大学は環境に優しいのか、エコ意識を深めているのか。本紙・松本典子Ⅱ人文学類、馬野裕子、高橋俊樹Ⅱ社会学類、篠崎真希Ⅱ国際総合学類、柏零Ⅱ社会学類

踏まえ、CO2を年間約1400トン程度削減することを目標として「筑波大学における温室効果ガス排出抑制のための実施計画・削減計画」を実行している。以前から、削減には取り組みが数値を設定し、具体的な計画を立てるのは今年度が初めてだ。

本学では、地球温暖化対策に関する日本政府の取り組み及び国際情勢を内容とし、近年話題となった「ウォームヒズ」の取り組みが行われている。具体的には、削減には取り組みが数値を設定し、具体的な計画を立てるのは今年度が初めてだ。

また、吉田准教授は「小意識の問題がより鮮明になる。年度替わりの時期は卒業生が卒業して、新しい学生が入ってくる。その調査結果からは、モラルの問題が持ち出しに大きな影響を与えていることがわかった。

また、吉田准教授は「小意識の問題がより鮮明になる。年度替わりの時期は卒業生が卒業して、新しい学生が入ってくる。その調査結果からは、モラルの問題が持ち出しに大きな影響を与えていることがわかった。

環境レポート

学生の取り組み

本学には、環境問題に取り組んでいる学生団体がいくつか存在する。環境サー

エコレンジャー

環境サークルエコレンジャーでは「身近なエコ」に主眼を置いた活動を行っ

ている。現在のメンバーは15人ほどだ。プロジェクト制という活動方式で、メンバーはそれぞれ自分のやりたいプロジェクトに自由に参加出来る。現在、「ゴミを分別するプロジェクト」や「宿舍の環境を整備するプロジェクト」など、全部で6つのプロジェクトが動いている。

3Eカフェ

全代会と協力して行っている「エコサイクル」もそのひとつだ。卒業する学生

名な研究を進めている。遺伝子研究に使ったモ



トマトは「トマトが赤くなる」と、医者が青くなる」といわれるほど栄養価に富んでいる。最近の研究では、抗がん作用があるといわれるリコピン、ストレス緩和に効果があるギャバ、花粉症に効くとされるナリンゲ

ニンカルゴンなどが多く含まれていることが分り、話題を呼んでいる。そんなトマトだが、現在では遺伝子研究の新しいモデル植物として、注目を集めている。その中でも本学の江面浩教授生

クルエコレンジャー」、「3Eカフェ」、「環境コミュニケーションラボ」。それぞれ何に主眼を置き、どのような活動をしているのか取材した。

環境コミュニケーションラボ

環境問題に関心はあるが、実際の行動に移せない、実践の仕方がわからない。そんな人や企業に対し、環

境に配慮した行動を喚起させるのが環境コミュニケーションである。

環境コミュニケーションラボでは、毎月2回環境コ

ミューニケーションについての勉強会を行うとともに、企業からの環境問題対策についての相談も受けてい

筑波大からエコを発信 学生と市民の協力も

やつくは市の展望についての情報を、学生や市民にも知ってもらおうとを目的としている。今年から始まった環境問題に関する知識

遺伝子組換えトマ

次世代植物はトマト 病気の予防にも効果

遺伝子研究に使われてきた植物にはない遺伝子を多く持っている。こうし

たことから、トマトの遺伝子研究が注目を集めているのだという。

江面教授の研究室は現在、文部科学省が推進する「ナショナルバイオリ

研究で、世界的にも広く知られている。今年からはフランスのINRAグループも共同研究室を設置し、研究をさらに進めていく予定だ。

また、江面教授は、キッチンや日本デルモンテと協力して、ギャバを

る。メンバーの青山真弓さん

(生環後期1年)は「レジ袋削減についてをほじめ、自分たちの考えた企画を直接企業に提案するなど貴重な経験をした」と語る。環境コミュニケーションについて



3Eカフェのミーティングの様子

視点

レジ袋の有料化やクル・ビズの導入など、環境問題への関心は近年高まりつつある。しかし「エコ」の概念が広まるにつれて、トレンド化し、本質が置き去りにされていくと感じられる場面も見られる。

その一例が、エコバッグだ。有名人が持ったため、ブランドのエコバッグがブームになった。レ

ジ袋を削減するため、エコバッグの利用者にポイントを与えるなどのサービスをしている店も多

く、エコバッグが環境に良い」ととは一概に言えない。エコバッグを作るにも、需要は高い。むやみにレジ袋を消費するのは良くないが、もらったレジ袋を大切に使用して作るのに対し、エコバッグはより利用価値の高い

本質置き去りの「エコ」

知識を持って行動を

リサイクルも環境に優しいとは言いがけない。再生紙は、森林伐採を食い止めるためには有効か多

また、レジ袋はゴミ袋などに使用されているため、需要は高い。むやみにレジ袋を消費するのは良くないが、もらったレジ袋を大切に使用して作るのに対し、エコバッグはより利用価値の高い



卒業して20年余。僅か4年の在学にもかかわらず、今も、これからも筑波大学との縁が切れることほない。それは「青木塾」を始めとする幾つもの出会いがあったから

「青木塾」とは、長く辣腕記者として産経新聞で活躍された青木彰教授の薫陶を受けた学生の集まり。夜な夜な先生の官舎に集い車座で語り合っ

た塾生は、青木先生が定年退官されるまでの12年間で200人を超える。



仲間と共に歩む人生 トヨタ自動車 大洞和彦さん

「青木塾」では、毎週作文の宿題が出る。パソコンも携帯電話もない時代のころ、原稿用紙に肉筆で書いては本部棟の広報室に持参したものだ。多少の文才を自負して

青木先生の奥様である女優の佐々木すみ江さんが「青木軍団」と呼ぶ師弟の強い絆は、平成15年に先生が肺癌で他界された後も続。青木塾12期生の亀谷賢氏と王井隆義教授(人社)の尽力で実現した年間講義「青木彰

して広報を担当している。仕事は厳しい。突けば血が出る、それがプロの仕事だ。思ったように進まず、些細なことで落ち込むことも少なくない。

目には自費で入学し、会社に運いながらマーケティングを学んだ東京・大塚の社会人大学院(GSSM)の恩師・西尾ツル教授や同期生など、全て筑波繋がりであること

そんな時には気を許せる仲間と会い、色々な話を聞き、元気を貰う。その仲間が、青木塾はもうろん、学園祭前には徹夜で作品づくりをした筑波放送協会(THK)の先輩・後輩たち、入社10年

は決して偶然ではない。私の年齢も40歳代半ばを過ぎた。近くは韓国から、遠くはアルゼンチンまで、中国を中心に3年間で37回の海外出張をこなすペースで仕事を続けることは体力的にも難しいだろう。いずれ私にもビジネスの最前線から離れる時は来る。また、週末になると私から離れない小学3年生の双子の息子たちも、いずれは巣立ってゆくだろう。

全日本選抜柔道体重別選手権

栗野、牧 準決勝で惜敗

卒業生5人が北京へ 在学生は出場ならず

柔道

今年8月に行われる北京五輪代表の最終選考となる平成20年全日本選抜柔道体重別選手権大会が4月5～6日に福岡国際センター(福岡市博多区)で開催された。本学からは、73キロ級に栗野康治(体専2年)、48キロ級に福見友子(体育1年・了徳寺学園)と伊部尚子(体専3年)、57キロ級に藤田康恵(同)と牧志津香(同1年)が出場。栗野と牧の2人が準決勝まで進み、福見、伊部、藤田の3人が1回戦で敗退した。栗野は1回戦で初めて対戦する成田泰宗(アルゼ)を指導2つで下した。準決勝では大東正彦(旭化成)と対戦。栗野は組み止められず、大東に袖を絞られた。

伊部は1回戦で相手は五輪2連覇中の谷亮子(トヨタ自動車)。昨年度の同大会でも1回戦で対決したが、そのまま背負い投げで1本を取られた。栗野はもう少し対抗できるかと思っただけ、力不足だった。悔しいというよりは力の差があると感じた」と話した。昨年度覇者の福見は足の怪我を押して今大会に出場した。1回戦で宝真由美(コマツ)と対戦。拮抗し、延長戦までもつれ込むも、肩車で技ありを取られた。怪我でまともに稽古できなかった福見は「練習は大事だとしみじみ感じた。ここをスタートにして、前進できるよにしたい」と語った。五輪代表を逃したことにについては「素直に受け入れる。次は必ず自分」と決意を新たにしている。

女子、5戦全勝で首位

男子 序盤に苦しみ5位

よび入れ替え戦は実施されず、無冠に終わった男子は、



スパイクを打つ鈴木 (東京体育館にて)

関東大学王者を決める春季関東大学バレーボールリーグの1部リーグが4月12日から東京体育館(東京・渋谷区)などで行われている。男子は29日に閉幕し、3勝4敗の5位に終わった。女子は29日時点で5戦全勝、首位に立っている。今年は五輪予選や国際大会に選手を派遣するため、全8チームによる予選リーグのみ行われ、決勝リーグお

開幕から4連敗と苦しい滑り出しになった。4月20日には、昨年の全日本インカレ王者日体大と対戦した。第1セットは、キャプテンでエースの鈴木悠二(体専4年)や篠村矩行(同3年)、1年生ながらスタメンで出場した佐々木恵三(体専)が中心になって得点を重ねた。終盤まで一進一退の攻防が続き、デュースになってからも点の取り合いが続いたが、最後は鈴木が得点を決め、30-28で第1セットを取った。第2セットもほとんど点

差が付かない、白熱の展開になった。終盤も1点を争う攻防が続いたが、最後は王者日体大に意地を見せつけられ、23-25でセットを落とした。第3セットも序盤は点を取り合う展開となったが、中盤から連続失点を喫して引き離され、19-25でセットを奪われた。第4セットも勢いに乗った日体大を止めることができずに失点を重ね、最後は16-25でセットを落とし、セットカウント1-3で敗れた。しかし、次の国士館大戦

はフルセットの末に勝利した。残る2試合も勢いに乗って連勝し、3勝4敗の5位という結果で今季のリーグ戦を終えた。昨年秋季リーグを制した全日本インカレ準優勝だった女子は、29日までで5戦全勝と好調を維持している。残る2試合は5月17日、18日の両日に、青山学院大学記念館(東京・渋谷区)で行われる。個人賞は以下の通り。

【男子】ベストスコアラー賞 鈴木悠二▽ブロック賞 篠村矩行

いた舞台にやっと出られる。出るからには金」と語った。岡田監督は秋本について「一番に原因は大きな怪我が続いたことだろう」と分析した。北京オリンピック出場を決めた金丸は「目標にして

「先を見ないで頑張っている」と今後にについて語った。岡田監督は秋本について「一番に原因は大きな怪我が続いたことだろう」と分析した。北京オリンピック出場を決めた金丸は「目標にして



宮下 純一

北京五輪出場を懸けた第84回日本選手権水泳競技大会が4月15-20日に東京辰巳国際水泳場(江東区)で行われた。本学からは24人が出場し、50メートル自由形で、小林拓矢(体専)が4位入賞。北京五輪出場者は出なかった。また、本学OBの宮下純一(ホリプロ)が、100メートル背泳ぎで2位に入賞し、派遣標準

水泳



OB宮下が五輪へ 現役は4位が最高

「先を見ないで頑張っている」と今後にについて語った。岡田監督は秋本について「一番に原因は大きな怪我が続いたことだろう」と分析した。北京オリンピック出場を決めた金丸は「目標にして

メダルに近いのは平岡と石井慧(国士大)だろう。二人は世界選手権などの実績がないのでフレッシュャーを感じずに済む。シンクス的にはそういう選手がメダルを取ってくる事が多い」とと五輪への期待を語った。

えた決勝。スタート後のバサロで森田智己(セントラルスポーツ)に遅れをとったものの追い上げを見せ、50メートルをトップの26秒2で折り返す。両者ともに横並びのレースだったが、ラスト10メートルで森田にリードを許し、そのままゴ

な課題になる。宮下は、「日本選手権は満足がいく結果だった。これから持久力の強化を重点的に取り組む。予選、準決勝、決勝と勝ち上がってメダルを取りたい」と五輪への意気込みを語った。

う。「高校で練習していたときに、男子は筋力がある、科学的に野球を捉える勉強が出来ることも魅力の一つだった。



「野球は毎日、毎日やらないと上手くならない。けれどその分、奥が深く飽きない」と話すのは、今年度AC入試で入学した、山崎まり(体専1年)だ。首都リーグ初的女子出場を目指して、練習に励んでいる。



ACで入学した野球部女子部員
山崎まり (体専1年)

う。「高校で練習していたときに、男子は筋力がある、科学的に野球を捉える勉強が出来ることも魅力の一つだった。

初の女子レギュラー目指す

「野球に興味を持っていて、練習を休日はほぼ1日、練習をしている。高校の練習よりも、時間が長く、内容も濃い。現在は、体力作りなど基礎的な練習を重点的に行っている。素振りには毎日400-500回。それに加え、自主的にバッティング練習をする」

「野球に興味を持っていて、練習を休日はほぼ1日、練習をしている。高校の練習よりも、時間が長く、内容も濃い。現在は、体力作りなど基礎的な練習を重点的に行っている。素振りには毎日400-500回。それに加え、自主的にバッティング練習をする」

金平糖の思い出

松崎 萌

祖父がふろりと訪ねるときに必ずくれるお菓子は星の欠片なのだ、幼い紗英は信じていた。色とりどりの星の欠片は、赤いキャンのついた硝子瓶の中できらきら光った。

学生も文学界

「星に手が届くんだよ」そのとき祖父は高原へ旅行に行った話をしてい

けど無でられると暖かい。紗英、星は好きかいと祖父は訊ねた。きらきら星、好きよと紗英は答えた。幼稚園で教わった曲に合せてピアノを吹いたのだ。祖父はゆっ

たの星は、全部硝子瓶に詰めるようになった。お祖父ちゃん星を取ってきてくれたんだ、と紗英は硝子瓶を大切に部屋に飾った。星の欠片を大事



に食べた。例えば誕生日とかピアノの発表会とか、特別な日に一粒だけ口に放った。祖父が来るたびに置いていく袋詰め

の星は、全部硝子瓶に詰めるようになった。お祖父ちゃん星を取ってきてくれたんだ、と紗英は硝子瓶を大切に部屋に飾った。星の欠片を大事

に、一番星だけが夜の闇にぼつんと寂しげに浮かんでいた。ああ、お星様食べちゃったから。そう言えは、お婆ちゃんはお星様になったんだと聞いた。お祖父ちゃん

再び問う

それでもスターバックスに行きますか

津田幸男

私の問題提起「大学にスターバックスは必要か」に応えて4月号本紙に学生から2つの貴重な意見が載った。問題提起に添えてくれたことに感謝したい。

今回編集部を要請を受けて再び問題提起をさせていただく。更なる議論を期待したい。

今回のスターバックス開店は、「大学はどうあるべきか」を改めて考える良い機会を与えてくれていると思う。私は大学は「精神文化の砦」であるべきと考えるので、スターバックスに反対しているのである。

読者の皆さんはジョゼ・ボゼというフランス人農夫を、存知だろうか？彼が一躍有名になったのはフランスのある街で建設中のマクドナルドの工事現場に乗り込み、電気のごきりなど破壊行為をするという事件を起こしたときであった。

の星は、全部硝子瓶に詰めるようになった。お祖父ちゃん星を取ってきてくれたんだ、と紗英は硝子瓶を大切に部屋に飾った。星の欠片を大事

た日のことだった。橙色の夕暮れが、ベールをかけるように段々と暗くなり夜を迎えた。黒の画用紙に点を打ったみたい

暴力行為は絶対にいけないが、「ローカル文化」を愛するがゆえの反対運動は価値があるし、人々の共感を呼んだのである。彼らには「食と農はどうかあるべきか」「自分たちの街はどうあるべきか」の理念がしっかりとあったのである。ひるがえって日本はどうだろうか？

日本は急速にマクドナルド化している。スターバックスの進出もその一部である。『ファスト風土化する日本』の著者三浦展氏は、大型スーパーマーケットや大型ショッピングセンターの全国展開は、各地域の自然破壊、商店街破壊、共同無批判に受け入れるのではなく、それを相対化する行動を示すことにより、大学としての最低限の矜持が保てるのではないだろうか。それよりも、何らの反対

に、一番星だけが夜の闇にぼつんと寂しげに浮かんでいた。ああ、お星様食べちゃったから。そう言えは、お婆ちゃんはお星様になったんだと聞いた。お祖父ちゃん

た日のことだった。橙色の夕暮れが、ベールをかけるように段々と暗くなり夜を迎えた。黒の画用紙に点を打ったみたい

であるはずの大学にも「グローバルな侵略者」は登場してしまっ。それに対する目立った反対も（私以外）はない。しかし「精神文化の砦」たる大学が無批判にグローバル経済を受け入れて良いはずがない。大学の「精神文化」を守ろうという気概を見せるべきではないか。

せめて、スターバックスのロゴを取り外すことを要請してもよいのではないか。あの存在は大学の「精神文化」にふさわしいとは思えない。ハムステッドの例の如く、大学という環境への配慮があるべきではないか。「グローバル化」を無批判に受け入れるのではなく、それを相対化する行動を示すことにより、大学としての最低限の矜持が保てるのではないだろうか。それよりも、何らの反対

原稿募集

「学生文学界」への投稿を募集しています。なお、複数の応募があった場合は選考をさせていただきます。あらかじめご了承ください。字数：1000字程度。締切：5月30日（金）。掲載はペンネームでも可です。氏名・所属を明記の上、下記のアドレスまでお送り下さい。shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp



田植え

農林技術センターにて。授業の1コマ

はじめに医学生がどのように医者になるかを話します。医学部は六年制で、入学してから医師になるためには大まかに二つの大きな試験があります。一つ目は4年生の夏頃に受けるCBTというテストです。これに合格することで4年生の夏から5年生の終わりまでである病院実習を受けることができるようになります。二つ目は医師国家試験です。医学部には卒業論文はなく、代わりに卒業試験が行われます。卒業試験に受かり、その上で医師国家試験に受かることで医師になれるのです。

自分の姿映す就活

学生論壇 社会への声

意見になりますが、医学生にとっての就職は（学生団体・iris・関野雄太）医学責任などで大きな変化

の後に、他店舗のスタッフも動員してのゴミ拾いを検討しています。また、筑波大が地域活動に積極的な姿勢を示していることで、学内のボランティア団体とも協力しながら、そのような取り組みが実現していくことを期待しています。

全代会 今年の議長決まる 開かれた全代会へ



鈴木 弘毅



山城 恵

今年度初の全学学類・専門学群代表者会議（全代会）が、4月30日、午後に開かれた。会議では、前半に議長、副議長を決める選挙が行われ、前年度副議長

利用者に一言。大学図書館には初めての出版なので、販売だけでなく、何ができるか意見を取り入れ提案していきたい。

全代会副議長は、原則として全代会にいないが、今回の会議では決定が見送られた。5月14日に再選挙を行い、決定する予定。会議の後半には、全代会の専門委員会として、情報委員会を新たに設置する要望が出され、可決された。今年度の議長の鈴木さん、副議長の山城さんに話を聞いた。鈴木さんの抱負を。一つ目は、計画を立て、目標に向かい段階を踏んで

体育ギャラリー

本学体育の歴史を眺む

体専と芸専がコラボ
ユニフォーム展示企画も



実際に使用されたユニフォームが展示されている

本学の体芸棟の改修に伴って、4月8日、ペダストリアンデッキ沿いの5C棟2階展示室に体育ギャラリーがオープンした。本学は加藤澤男(体育・教授)を始めとし、数々の五輪メダリストを輩出するなどの実績をもつ。このギャラリーでは、その輝かしい本

学スポーツの歴史を見ることが出来る。ギャラリーには本学前身、東京教育大から続く体育の歴史が展示されている。1991年に大日本体育協会の設立し、時代に先駆けて7000人もの留学生を受け入れた嘉納治五郎の資料や、加藤教授が着用し

たモンテリオール五輪のフーラーなどが並んでいる。また、同ギャラリーは学生が中心となってオープンに向けて準備を進め、年間を通して常設展示に加え、企画展が開かれる。今回の企画運営に携わったのは主に体育専門学群のレジャー論研究室の4年生と、芸術専門学群の有志合わせて21人。体育と芸術を専門とする学生のコラボレーションは全国でも珍しい試みだ。

体専の学生代表の山崎友里江さん(芸専3年)は昨年、自由科目芸術開講「大学を開くアートデザインプロデュース演習」を受講していた。その授業の一環として体芸棟2階の体バチのデザインに取り組み、建築プロダクトデザイン、グラフィックデザインなどを専門とする学生に協力を呼びかけた。それぞれが専門分

野を活かし、空間のレイアウトや動く展示パネルの設計、ポスターのデザインなどを手がけた。体専のレジャー論研究室に所属する学生は昨年12月ごろから企画展の準備を始めた。今回オープンに合わせて企画したのは、「一部喝!」色から感じるTsukuba Spirit。野球部や蹴球部、ハンドボール部など全27団体が出展し、各部のユニフォームや紹介ビデオを見ることが出来る。

企画展の趣旨の一つは、伝統ある各部のユニフォームから、全ての部活が共有するTsukuba Spiritを感じとってもらうことだ。また、もう一つのメッセージとして、今は色もデザインもさまざまなユニフォームだが、大学を象徴する桐の葉のデザインを統一し、色も紫にする必要性を問いかけている。同企画展は8月末まで展示される。

体専の学生代表の柴村美帆さん(体専4年)は「新入生、他学群の人に体育の学生のがんばりを見てほしい」と来客者に向けてメッセージを送った。アカハラコンサート

ハーバード大学生来日
本学生と夢の競演も

今年6月19日、ノバホール(つくば市吾妻)でアメリカのハーバード大学のアカペラグループ、クロコディアロスのコンサートが開かれる。同コンサートに本学学生が実行委員会として運営に携わっている。

ハーバード大学は世界の大学ランキングでもトップクラスに名を連ねる。今回コンサートを開くのはそのハーバード大学でも1946年に創設された最古のアカペラグループで、選抜抜かれた12人で構成される。1920〜50年代のアメリカポピュラーミュージックを中心に、タップダンスを織り交ぜたステージパフォーマンスを得意としている。毎年世界公演を行い、今年は台湾やオーストラリアなどを回り、日本では東

京都、熊本県、茨城県で公演する。同コンサートは、日本ツアーを統括する生涯学習開発財団(本部=東京港区)と親交のある、国際総合学類OBで市議会議員の五十嵐立青氏を通じてつくば市での開催が決まった。その後、五十嵐氏が本学生に参加を呼びかけた。

実行委員長の金井友理さん(国総4年)が有志を募り、集まったメンバーは国総や社工、生資、生物の学



ダンスを織り交ぜたパフォーマンス

臨時号を発行

筑波学生新聞

者募集している。部員がある程度集まれば、復刊も視野に入れている。道本さんは、「全く同じものを発行するのではなく、時代に合わせた生き残るものを作らなければ10年もたない。新しいことをしてみたい」と話した。

学生新聞への問い合わせなどは、メールアドレスtsupweb2007@yahoo.co.jpで受け付けている。

部員不足のため、昨年7月から休刊していた筑波学生新聞が、4月1日に臨時増刊号を発刊した。今年の10月にも臨時で発行する予定だが、復刊のめどは立っていない。

筑波学生新聞は、昨年7月に当時の3年生が引退し、1年生だった部員も多忙だったため、道本久美子さん(芸専3年)が実質上1人で業務の全てを行っていた。今回の臨時増刊号は学生新聞のOBが呼びかけ、有志を募って作られた。現在では、正式な部員は道本さん1人だが、新人記



毎週月・水・金曜日の授業が終わると、ギター・マンダリン部の軽快なリズムが第2エリアA棟に響く。本学ギター・マンダリン部は、1977年に創設された、歴史あるサークルだ。

4月現在20人が在籍しており、部員は活動に参加していく中で、クラシックギターとマンダリンから演奏する楽器を選択する。今はギター奏者10人、マンダリン奏者10人として

バランスがよいのだと、部員の1人はほほ笑んだ。ギター・マンダリン部で演奏する曲は「白鳥の湖」や「G線上のアリア」といったクラシックを始めとして、コפקロの「桜などのポップミュージック」「ムーリバー」などの映画音楽、タンゴと多岐だ。

主旋律を演奏することが多いマンダリンは、イタリア民謡でなじみ深い。透明感のある音色と物悲しい音色の両方を持ち合わせており、BGMやCMでもよく用いられている。8本の弦を持ち、ピックで弾くのが特徴だ。一方優しい音を持つクラシックギターは伴奏を務めることが多く、丸みを帯びた和音でマンダリンを引き立てる。演奏が始まると、一瞬

取材メモ

本紙261号(昨年5月14日発行)で本紙記者が入学式で聞いた保護者の声を取り上げた。一つは入学式に来た保護者の席がないという困惑の声だった。

昨年までの入学式は、新入生だけでなく保護者も入る。入学式で聞いた保護者の声を取り上げた。一つは入学式に来た保護者の席がないという困惑の声だった。

また、式次第を書いた紙を学生会館外の2か所に置く、自由に持っていく形をうな保護者の意見を受けて

とったが、気付かない保護者も多かった。そのため、保護者が、自分の子どもに会う時間があるかなど困惑する場面が見られた。

今年度の入学式は、そのように入学者数はそれぞれ1186人と1284人。新入生は講堂に全員の席を確保することができた。保護者は先着順で講堂の空いた席に座り、その他の保護者もモニターがあるホールで座って見ることが出来る。入学式の流れも特に混乱は

入学式今年から改善

学群入学式が2回に分けて行われた。当日の日程については会場の扉など目につくように、数か所式次第を貼り出した。

講堂の収容人数が1622人。第1回目と第2回目の入学式の入学者数はそれぞれ1186人と1284人。新入生は講堂に全員の席を確保することができた。保護者は先着順で講堂の空いた席に座り、その他の保護者もモニターがあるホールで座って見ることが出来る。入学式の流れも特に混乱は

ギター・マンダリン部

毎週月・水・金曜日の授業が終わると、ギター・マンダリン部の軽快なリズムが第2エリアA棟に響く。本学ギター・マンダリン部は、1977年に創設された、歴史あるサークルだ。

4月現在20人が在籍しており、部員は活動に参加していく中で、クラシックギターとマンダリンから演奏する楽器を選択する。今はギター奏者10人、マンダリン奏者10人として

バランスがよいのだと、部員の1人はほほ笑んだ。ギター・マンダリン部で演奏する曲は「白鳥の湖」や「G線上のアリア」といったクラシックを始めとして、コפקロの「桜などのポップミュージック」「ムーリバー」などの映画音楽、タンゴと多岐だ。

主旋律を演奏することが多いマンダリンは、イタリア民謡でなじみ深い。透明感のある音色と物悲しい音色の両方を持ち合わせており、BGMやCMでもよく用いられている。8本の弦を持ち、ピックで弾くのが特徴だ。一方優しい音を持つクラシックギターは伴奏を務めることが多く、丸みを帯びた和音でマンダリンを引き立てる。演奏が始まると、一瞬



「家族」と共に奏でる音色

広さを感じる。できるだけたくさんの人に演奏を聴いてもらいたい。部長の松澤由佳さん(比文3年)はそう語る。ギターとマンダリンの読み方から始まる丁寧な指導のもとで上達していく。現在はやとかり祭と5月25日のギターフェスティバルに向けて練習中だ。

部員同士の仲もよく、部員が誕生日を迎えるたびに、みんなで合奏のソロとさまざまな形態で演奏できることと語る。入部者の大半が初心者だが、先輩部員の楽譜の助けを借り、時にはおしゃべりをしながら、時には真剣に楽器に向かい合い、リズムを尊重しながら進められる練習は、強い絆で結ばれた「家族」が奏でる優しい音色と笑顔で満ちていた。

(本紙・宮脇千佳子=比較文化学類)

Who's Who?



「芸術賞」作品「beacon」に協力 鎌谷 崇広 さん（情報創成 2 年）

鎌谷さんが「beacon」に参加したのは、夏休みに行われた人間総合科学研究科の集中授業がきっかけだった。そこ

は連日、授業が終わってから深夜 3 時頃まで続き、発表前には、徹夜でパソコンに向かった。過酷な条件の中、内山講師

アイデアを形にした技術 デジタル楽器の新境地拓く

プロジェクトが始動してからは、ほぼ毎日、研究室に通い詰めた。作業

は、出来たものでのようには遊べない。でも、それを考えていく。エン

「歌で心がなぐさめられたり、みんなで楽しめたり、音楽には力がある」と鎌谷さんは話す。海外で音楽家やメディアアー

「歌で心がなぐさめられたり、みんなで楽しめたり、音楽には力がある」と鎌谷さんは話す。海外で音楽家やメディアアー

「歌で心がなぐさめられたり、みんなで楽しめたり、音楽には力がある」と鎌谷さんは話す。海外で音楽家やメディアアー

は連日、授業が終わってから深夜 3 時頃まで続き、発表前には、徹夜でパソコンに向かった。過酷な条件の中、内山講師

は連日、授業が終わってから深夜 3 時頃まで続き、発表前には、徹夜でパソコンに向かった。過酷な条件の中、内山講師

は連日、授業が終わってから深夜 3 時頃まで続き、発表前には、徹夜でパソコンに向かった。過酷な条件の中、内山講師

は連日、授業が終わってから深夜 3 時頃まで続き、発表前には、徹夜でパソコンに向かった。過酷な条件の中、内山講師

第34回やどかり祭

5月20―24日交通規制

第34回宿舍祭（やどかり祭）の開催に伴い、5月20―24日まで、交通規制と駐車規制を行う。規制の時間・場所は次の通り。

◆通行禁止

平砂・追越間宿舍内道路

23日午後3時―10時

24日午前11時―午後10時半

◆自転車通行禁止

平砂学生宿舎地区および一部の追越地区のペDESTリアン

23日午後5時―10時

24日午前11時―午後8時半

◆駐車規制

仮設追越西駐車場

23日午後5時―10時

24日午前11時―午後8時半

20日午後6時―24日午前0時

平砂駐車場、仮設平砂西駐車場

21日午後6時―25日午後5時

仮設西地区駐車場

23日午後6時―24日午前0時

24日の本祭が雨天順延し

第2回つくば3Eフォーラム

5月31日、6月1日に開催

つくば市民、行政、大学、研究機関が連携し、環境都市を考える「第2回つくば3Eフォーラム」が5月31日、6月1日に本学の大学会館で開催される。参加費は無料。

5月31日は、つくば市長、科学技術担当大臣による基調講演、ロンドンなど海外都市の環境に対する取り組みを紹介。また、低炭素・低エネルギー社会実現を考える「第2回つくば3Eフォーラム」が5月31日、6月1日に本学の大学会館で開催される。参加費は無料。

また、両日とも電気自動車など大学、研究機関及び産業界が開発した技術を展示する。詳細はホームページ＝<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~eeeforum>

次号は6月16日(月)発行予定です

筑波大学新聞では新人記者を文系・理系問わず募集しています

伝えたいことがある人

文章を書くのが好きな人

パソコンが得意な人……

あなたの才能を編集部で生かしてみませんか？

連絡先：029・853・6699

shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

blog：http://daigakushinbun.blog37.fc2.com/

大学会館書籍部ベストセラー	
1	女性の品格 坂東眞理子/PHP研究所
2	ルポ貧困大国アメリカ 堤未果/岩波新書
3	B型自分の説明書 Jamais Jamais/文芸社
4	生物と無生物のあいだ 福岡伸一/講談社
5	ダーリンは外国人 with BABY 小栗左多里/メディアファクトリー
6	お金は銀行に預けるな 勝間和代/光文社
7	大人の見識 阿川弘之/新潮社
8	流星の絆 東野圭吾/講談社
9	A型自分の説明書 Jamais Jamais/文芸社
10	私の男 桜庭一樹/文芸春秋

4月の1位は、坂東眞理子の「女性の品格」。2位は、堤未果の「ルポ貧困大国アメリカ」。貧困層は最貧困層へ、中流の人びとも尋常ならざるペースで貧困層へと転落していく。急激に進む社会の二極化の原因は何なのか、人びとの苦難の上でいったい誰が暴利をむきほたしているのか。人びとの肉声を通して報告する。

催事は、共立出版フェア。12日から15%オフ。

旅行代理店5月にオープン

大学会館別館2階部分に5月1日、近畿日本ツリスタがオープンした。

オープン記念キャンペーンとして、6月30日申込までのパッケージツアー商品が30%割引になる。パッケージ商品に限り、1000円で1ポイントたまり、100ポイントで1000円の旅行券として使える。

◆写真演習有志写真展

5月14―25日、午前9時―午後4時半。国立科学博物館筑波実験植物園にて。入場料一般・大学生300円

◆森竹巳展（構成）

5月31日まで。筑波大学アトススペースにて。午前9時―午後5時まで。月曜日休館。入場料無料。

◆クンショウモ・デザイン展

微小藻が誘う美の世界―生物学研究の発表会を開催。生物学を志す学生同士の交流、大学の先生との議論など。著名な先生方による講演もあり、講演会のみ参加も歓迎。

◆つくば生物研究コンテスト

5月24日、午前10時―午後4時半まで。筑波大学総合研究棟・生命環境学群H棟にて。中高生による生物学研究の発表会を開催。生物学を志す学生同士の交流、大学の先生との議論など。著名な先生方による講演もあり、講演会のみ参加も歓迎。

◆森竹巳展（構成）

5月31日まで。筑波大学アトススペースにて。午前9時―午後5時まで。月曜日休館。入場料無料。

◆クンショウモ・デザイン展

微小藻が誘う美の世界―生物学研究の発表会を開催。生物学を志す学生同士の交流、大学の先生との議論など。著名な先生方による講演もあり、講演会のみ参加も歓迎。

◆つくば生物研究コンテスト

5月24日、午前10時―午後4時半まで。筑波大学総合研究棟・生命環境学群H棟にて。中高生による生物学研究の発表会を開催。生物学を志す学生同士の交流、大学の先生との議論など。著名な先生方による講演もあり、講演会のみ参加も歓迎。

筑波自然図鑑

◇タチツボスミレ◇

撮影地＝宝鏡山・小田

小田の宝鏡山に登って、そこに生えるタチツボスミレが大きいのに驚いた。構内のループ沿いなどで見る葉が2、3枚の小株とは比べものにならない。多分構内と違って宝鏡山では刈り取られることが少なく、のびのびと育っているのだろ。何かうらやましい気がした。とはいえず、実際にはむさい草が近くにいてどいてくれないとか、毛虫にたかられるとか、人知れぬ苦労があるのだろ。（写真・文＝田中弘毅 生物4年、野生動物研究会）